

## 第4学年 国語科学習指導案

日時 平成18年9月8日(金)5校時

児童 4学年 女子2名 計2名

授業者 大橋 仁

### 1 単元名(教材名)

第4学年 「材料の選び方を考えよう」 (「アップとルーズで伝える」)

### 2 単元について

#### (1) 教材観

第3・4学年の読むことの目標は「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。この目標を受けて本単元の第1教材「材料の選び方を考えよう」では、読むことの目標を「段落相互の関係を対比的にとらえて『アップ』と『ルーズ』の内容を把握するとともに、文章の全体構造をとらえる。」とする。ここで学習したことを生かして、続く第2教材「4年3組から発信します」での学習に入ることになる。第2教材では、集めた情報の中から相手や目的に合うものを選んで伝える活動のあり方を学ぶ。

4年生は以前に「『かむ』ことの力」で「また」、「まず」、「次に」、「さらに」、「このように」などの接続語ではじまる段落の相互の関係や文章の全体構造を学習してきた。本教材は、「アップ」で撮った時と「ルーズ」で撮った時の特徴が同じような文章構造を持って書かれている。それを対比的にとらえることで内容の把握がより確実になることを学習するのに適している。

#### (2) 児童観

2名のうち一人は漢字の読み・書きはよくでき、滑らかに音読できる。中心文をつかんだり文章の構造を理解したりする力は十分とは言えないが、適切な着眼点が与えられることにより、それらができるようになる。「『かむ』ことの力」の学習では、「よくかむと、どんないいことがあるか」ということを意識することにより、段落の中心文を見つけることができるようになった。

もう一人は、きわめて語彙が乏しく、同級生と行う会話の内容を理解できないことがしばしばある。初めて接する文章の音読はよくつまずくが、何度も練習することによりほぼ読めるようになる。「『かむ』ことの力」の学習では、音読を何度も繰り返すことによりキーワードを含んだ文を探し当てることができるようになった。

### (3) 指導観

本教材では段落ごとの要点をとらえさせ、その上で文章の全体構造をとらえさせる活動をさせて読み取りの力を育てていきたい。その際まず、中心文にサイドラインを引かせ、次にその中でも重要な箇所を見つける活動をさせる。そしてこの箇所を要点とする。これらの活動をさせるときには読み取りの視点を与えた効果的な音読を取り入れたり、何度も音読させたりする。その視点にはキーワード、接続語等を用いる。そして写真と文章を対応させて理解を深めさせる。また、後半の取材して伝える内容を書く活動では、カメラを児童に持たせ、アップとルーズで撮った写真を使った壁新聞を作らせる計画である。

### 3 単元の目標と評価規準

目標	段落相互の関係に気をつけることで内容を把握しやすくなることを知り、読み取りに生かす。 取材したものから、相手と目的に応じて伝えるものを選び、分かりやすく伝える。
関心・意欲・態度	文章を構造的に読もうとする。 取材したものの中から相手や目的に合うものを選んで伝えようとする。
読むこと	段落の要点をつかむ。段落相互の関係を知り、要点の把握に生かす。
言語の力	文章全体におけるそれぞれの段落の役割を理解する。

### 4 指導計画(15時間)

第1次	単元全体を見通し、学習計画を立てる。(計2時間) 「アップとルーズで伝える」を読んで始めて知ったことや興味を持ったことなどを発表する。新出漢字の読み・書きを練習する。難しい語句の意味を調べる。(1時間) 形式段落に分け、課題を作る。(1時間)
第2次	課題に沿って「アップとルーズで伝える」の内容を読み取る。 (計4時間) ～ 段落を読み、それぞれの要点をつかむ。(1時間) ～ 段落を読み、それぞれの要点をつかむ。(1時間)・・・本時 ～ 段落を読み、それぞれの要点をつかむ。(1時間) 各段落に小見出しをつけ、更に段落のまとまりに大見出しをつける。それをもとに全体を簡単な文章構成図で表す。(1時間)
第3次	取材したものから、相手と目的に応じて伝えるものを選び、分かりやす

	<p>く伝える。(計8時間)</p> <p>「4年3組から発信します」を読み、活動の見通しを持つ。新出漢字の読み・書きを練習する。難しい語句の意味を調べる。(1時間)</p> <p>教科書に載っている例の工夫について学習する。(1時間)</p> <p>取り上げる題材を決め、取材する。(2時間)</p> <p>伝えるものを選んで記事を書いたり割付けしたりする。(3時間)</p> <p>清書する。(1時間)</p>
第4次	<p>単元のまとめをする。(計1時間)</p> <p>自分たちの作品の工夫点を確認する。コラム「選んで伝える」を読んで、伝え方について考える。</p>

## 5 本時の指導

### (1) 目標と評価規準

目 標		
アップとルーズの特徴を読み取る。		
評価規準	具体の評価規準	
アップで撮ったときとルーズで撮ったときの長所と短所を読み取ることができる。	十分満足	概ね満足
	アップやルーズの長所や短所の書かれた中心的文を選び出し、その中の特に重要な箇所を探することができる。	アップやルーズの長所や短所の書かれた中心的文を選び出すことができる。

### (2) 児童の実態と支援

(読)・・・「読むこと」 文章に書かれてあることの実事や考えを具体的に読み取る力

児童	KY(読)	SY(読)
実態	具体的な支援により、書かれてあることの実事を読み取ることができる。	書かれてあることの意味が説明されても理解できないことが多い。
支援	長所、短所が書いてあるところが段落の要点であることを意識させ、何度も読ませる。	「アップ」、「ルーズ」という言葉が出てくる文を探すとよいことを知らせ、何度も読ませる。

段階	学 習 活 動 ( 主 発 問 )	指導上の留意点
つかむ (三分)	1 前時の学習内容を想起する。 2 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">アップとルーズのとくちょうを読み取るう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の課題とまとめた内容を簡単に振りかえらせる。</li> </ul>
しらべる・たしかめる (三七分)	3 学習課題に取り組み、取り組んだ内容を確認める <ul style="list-style-type: none"> <li>難しい語を確認める。</li> <li>段落を音読する。</li> </ul> 段落の内容を読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>内容をつかむための音読をする。</li> </ul> 「アップ」でとった時の長所と短所は何でしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>長所と短所が書いてある文にサイドラインを引き、その中の重要な箇所にも更にサイドラインを引く。</li> <li>教師がまとめた要点をノートに書く</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">           アップ            長・・・細かい部分の様子がよく分かる。            短・・・うつされていない多くの部分のことは分からない。         </div> 段落の内容を読み取る <ul style="list-style-type: none"> <li>内容をつかむための音読をする。</li> </ul> 「ルーズ」でとった時の長所と短所は何でしょうか <ul style="list-style-type: none"> <li> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">               ルーズ                長・・・広いはんいの様子がよく分かる。                短・・・各選手の顔つきや視線、気持ちまでなかなか分からない。             </div> </li> </ul> 段落の内容を読み取る <ul style="list-style-type: none"> <li>内容をつかむための音読をする。</li> </ul> 二つの文のうちどちらの文が中心文になるでしょうか <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">             このように              アップとルーズには伝えられることと伝えられないことがある。           </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「アップ」についての段落、「ルーズ」についての段落、両者のまとめの段落が ~ のどの段落が気付かせながら聞かせる。</li> <li><u>読み取りの視点</u> 「アップ」の長所と短所 「アップ」という言葉が書いてある文</li> <li>重要な箇所にはできるだけ短く引かせる。</li> <li>「よく分かります」は長所を、「分かりません」は短所を示すことを確認する。</li> <li>長所、しかし、短所という順で書かれていることを知らせる。</li> <li>写真で様子を確認める。</li> <li><u>読み取りの視点</u> 「ルーズ」の長所と短所 「ルーズ」という言葉が書いてある文</li> <li>サイドラインは自力で引かせる。</li> <li>写真で様子を確認める。</li> <li><u>読み取りの視点</u> 、段落のまとめが書いてあるところ、「このように」、「アップ」、「ルーズ」が書いてある文</li> <li>できるだけ自力で解決させる。</li> <li>「アップ」と「ルーズ」の特徴が「このように」ではじまる段落でまとめて書いてあることを確かめる。</li> </ul>
(五分) まとめる	4 学習のまとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>まとめの音読をする。</li> <li>感想を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まとめた要点に当たるところに注意して読ませる。</li> <li>学習して分かったこと、友達の考えや意見で感心したことなど</li> </ul>

(4) 板書計画

